

「風街タヤけマルシェ」スタート

前橋中心商店街(協)

平日夕暮れ時の商店街を盛り上げようと、前橋中心街のアーケード内にて「風街タヤけマルシェ」をスタートさせた。

初回の6月27日は、クラフトビールを楽しめるバーカウンターをはじめ、飲食や雑貨など40を超える出店があり、買い物を楽しむファミリーや仕事終わりのひと時を過ごす仲間同士など多くの来街者で賑わった。

実行委員長の大橋慶人副理事長は、「今後は、出店や商品内容について、曜日別テーマの設定なども検討中。新しい取り組みや工夫で商店街の日常を元気にしていきたい」と力強く話す。当面は金曜日を中心に開催予定。



開会挨拶をする大橋実行委員長



マルシェを楽しむ来街者



開催日はこちら

働き方改革関連法に対応した就業規則への見直しを実施

前橋ガス事業(協)

7月16日、前橋市・組合事務所において、働き方改革や将来想定される労務問題に対応するため、社会保険労務士・高橋貞範氏を招き、最新の労働法制に即した就業規則への見直しを行った。



法改正や新しい就業規則について話し合った



ここ数年、労働法制に大きな変更があり、就業環境が変化している背景から、同組合では就業規則を最新法令に則った形式に見直し、職場の労働環境整備を企画。実施に当たって、本会の制度改正等の課題解決環境整備事業を活用した。

高橋氏は、現行規則の内容を踏まえ、労働基準法の原則や最近の改正内容を説明し、働き方改革の実践に向けた助言を行った。

第28回全国菓子大博覧会褒章伝達式を開催

群馬県菓子(工)

4年に1度開かれる菓子の祭典「第28回全国菓子大博覧会」(新型コロナウイルス感染症の影響で今回は8年ぶり)が本年5月30日～6月15日、北海道旭川市で開催された。全国から応募のあった約1,200点の菓子の中から、同組合の組合員が最高賞である名誉総裁賞を受賞したほか、計10社がそれぞれ栄誉ある賞を受賞。これを記念し、同組合では7月16日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において褒章伝達式を挙行了。和菓子部門、洋菓子部門でそれぞれ最高賞に選ばれた2社には、名誉総裁賞の褒章状が伝達された。

その後、行われた懇親会では、参加者一同、喜びを分かち合った。



伝達式を終え喜びの記念撮影

Local Area News

熱中症対策について講習会を開催

群馬県自動車車体整備(協)

7月18日、前橋市・群馬県勤労福祉センターにおいて、職場における熱中症対策の強化について講習会を開催した。講師は、(株)ミツバ環境ソリューションの高田貴氏と椎名哲士氏。

熱中症予防対策の義務化を受け、現場における対応としてWBGT値(暑さ指数)を理解し活用することが重要と話し、現場での整備事項を解説。対策を講じなかった場合には罰金や行政指導の対象となる旨説明した。



法改正の内容や熱中症対策を熱心に聞く参加者

「すえひろDE泡フェス」を開催

桐生市末広町商店街(振)

7月19日、子供たちに夏休みを楽しんでもらおうと「すえひろDE泡フェス」を開催した。イベントでは泡の中から景品の書かれたボールを見つける宝探しや商店街の店舗を回遊するともらえるカードでビンゴ大会を実施。子供たちは、大砲から降り注ぐ泡で全身泡だらけになりながら、あわあわパーティーを元気に楽しんだ。かき氷やハンバーガーなどのフードブースも設けられた会場では、家族連れも多く訪れ、盛り上がる子供たちの様子を笑顔を見せていた。



泡の中で元気にはしゃぐ子供たち



電気使用安全月間に伴い所信を表明

群馬県電気工事(工)

8月1日、前橋市・県庁昭和庁舎において、電気使用安全月間における所信表明を行い、県に趣意書を手渡した。

電気使用安全月間とは、全国で毎年8月に実施される電気の正しい使い方の啓発や安全対策を周知するためのキャンペーン期間のこと。

中島正幸理事長は、電気使用の安全に関する周知・啓発等、組合における活動を説明した後、「組織をあげて取り組む」と語り、安全な電気使用の啓発活動の展開を誓った。

群馬県総務部・高原啓成危機管理監からは、日頃の啓発活動並びに電気安全対策確保・管理等に対する感謝とともに、猛暑による電気使用量の増加と、それに伴う事故増加が危惧されることから、この活動への期待が示された。



高原危機管理監(左)に
趣意書を手渡す
中島理事長(右)



業界一丸となり取り組む